

YANMAR

B77E
シグマ

新世代Σブーム搭載

B77E



ヤンマー超小旋回バックホー



超小旋回機の概念を打ち破った
ヤンマー独創のΣブーム搭載。

発売以来、ヤンマー独創のΣブームで、土木建設業界に“大きなブーム”！さらに深く掘りたい。さらに高能率に仕事がしたい。というユーザーニーズにお応えする《B7Σ》です。

深部掘削が必要な都市部での上下水道本管工事・ガス管工事・通信ケーブル埋設工事など、住宅密集地や狭い現場で威力を発揮します。

ライバルは0.4m³クラス。
超小旋回機の

怪物

B7Σ

7トン《シグマ》

《Σ》なら 深掘りが効く。使いやすさが違う。

今まで、人手に頼らざるを得なかった
“細かい作業”もラクにこなします。

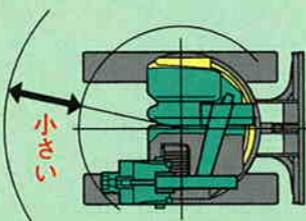
左オフセット時の深掘りに威力を発揮する 長尺第3ブーム

独特のオフセット機構とリーチの長い第3ブームにより、矢板を打設した現場でも、さらに深い側溝掘りが可能です。

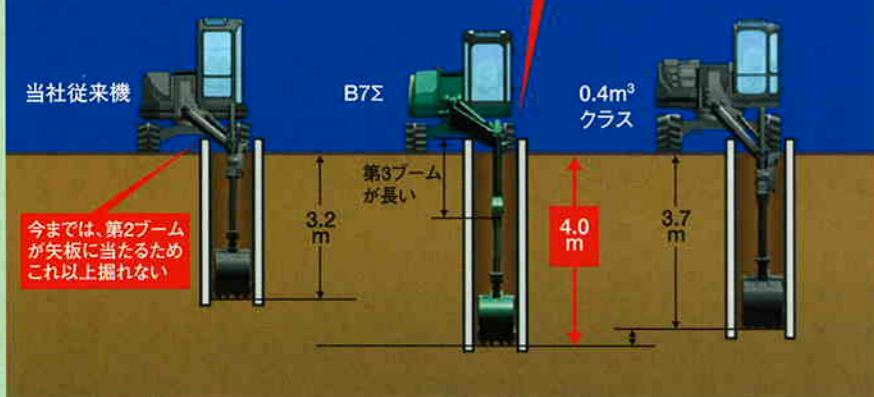


狭所旋回も得意な Σブーム

道路での本管理設工事や市街地の狭い現場でも旋回が可能。左オフセット姿勢でも小回りがきき、ダンプに接近して「掘削→旋回→積込み」の一連作業がスムーズに行えます。

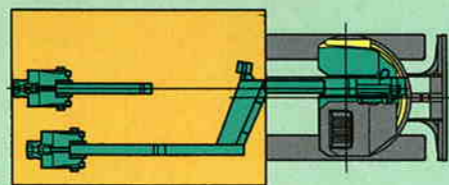


■超小旋回機 掘削深さの比較



「荷台上土ならし」がよい。

Σブームなら、荷台の隅々まで手が届き、土ならしが容易。積み込み作業も速くすみずみます。



高張力鋼板採用による軽量化で すぐれた作業安定性を実現

一見、重たそうに見えるΣブームですが、作業バランスや剛性を向上させるため、普通鋼の約1.5倍の強度を持つ高張力鋼板を採用。作業機の軽量化と重心位置の最適設計により、安定した機体バランスを実現しています。

超小旋回機の常識を超えた、快適な作業スピードと安定性。

複合操作も速くて、スムーズ。 ヤンマー独創の3ポンプ油圧システム

「アーム優先合流回路」を採用した、独創の油圧システムを搭載。ブーム・アーム・バケット・旋回の複合操作時でも、アーム回路に油圧を優先的に合流させてアームスピードをしっかりと確保。掘削→積込み作業がよりスムーズにおこなえます。



キャビンタイプ

う。

バケット気にせず、仕事が速い。 信頼のメカ式バケット干涉防止

オペレータに接近しないバケット軌道設計と、確実に機能するメカ式構造により、スムーズで信頼性の高い快適作業を実現。マイコン式のように停止領域で作業がストップすることはありません。ストレスを感じさせない高能率な作業が可能です。



ここに注目!
Σブームの
バケット軌道

人と周辺環境にやさしく。

《B7Σ》ならではの快適オペレーション。



(写真のエアコンはオプションです)

のびのびと操作ができる 国際基準のワイドなオペレータエリア

Σブームの採用でオベスペースがグリーンとワイドになりました。座席両サイドも、足元スペースもゆとり十分。快適空間で長時間作業の疲労を軽減します。



損傷にくい
ブーム背面アームシリンダー



ユニークなデザインの
メーターパネル(写真はキャビンタイプ)



油圧ホースを内蔵した
スッキリ配管



エンジンまわりの点検がラクにできる
ワイドなリアボンネット



スライドアップ式フロントガラス
(キャビンタイプ)



高性能エアコン(オプション)



カーラジオ(キャビンタイプ)

ヒーター吹出し口(キャビンタイプ)



燃料給油口、バッテリーなどを
収納したサイドボンネット



他社の操作パターンに対応した
マルチパターン機能



個別に交換できる
バットクローラ(オプション)



ワイドな踏ん張りで安定性を向上。 ヤンマー独創の好バランス足まわり

車幅を広げずに安定性を高める、独創の足まわりを採用。転倒支点となる転輪を従来より外側に配置し、横方向のバランスを向上。また、クローラの接地長を長くして、縦方向のバランスを確保。これにより、重量を増さずに、どっしり踏ん張る好バランスを実現しました。吊り上げ能力も大幅に向上しています。

Clean & Silent

国土交通省2次規制 対応エンジン搭載!



クリーンな排気とパワフルな出力を両立したヤンマーC&S(クリーン&サイレント)エンジンは、国土交通省2次規制およびEPS(アメリカ)、EC(ヨーロッパ)の環境規制に対応した排気ガス対策型。しかも超低騒音で、人と環境にやさしいエンジンです。

- 排出ガス対策型建設機械指定申請予定
- 低騒音型建設機械指定申請予定

作業効率をアップするパワフルクレーン。 掘る→吊る→埋める、1台3役!



H&クレーン仕様

より安全に、より高能率に作業ができるクレーン兼用機です。

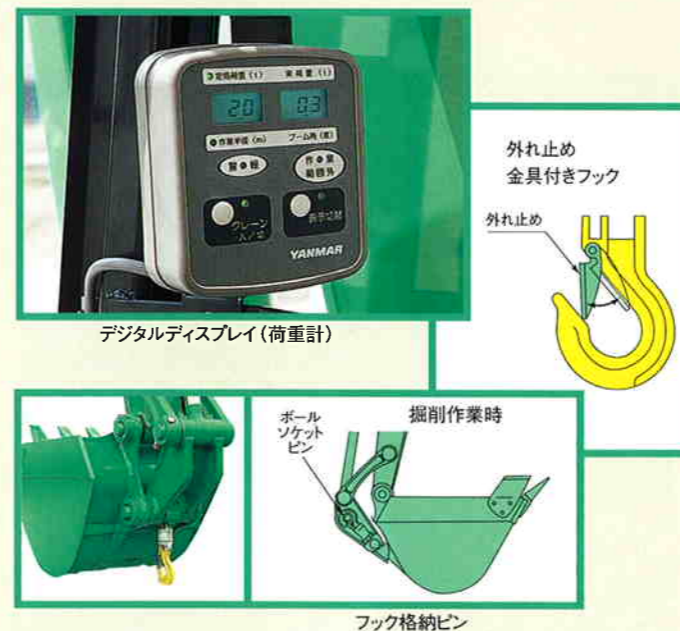
「移動式クレーン構造規格」
「クレーン等安全規則」に定められた安全装置を装備。
排土板標準装備の
パワフルなH&クレーンです。



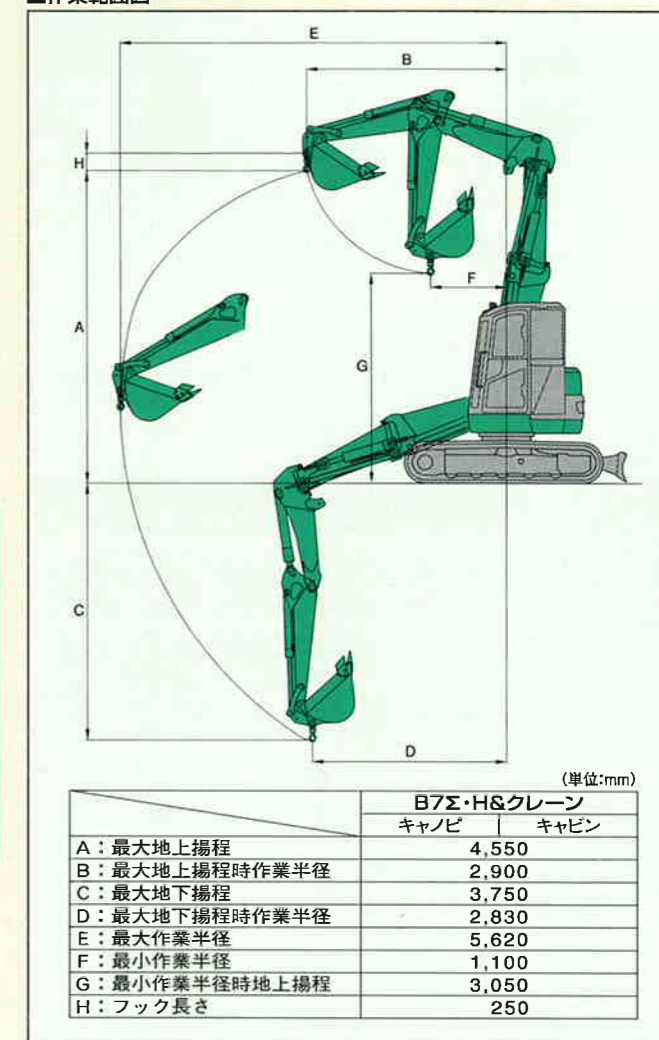
法規を満たす安全性で、最大2.5トン吊り。

上下水道管の埋設工事は、この一台におまかせください。

- ブーム急降下防止装置
逆止め弁の採用で、油圧の異常低下によるブーム急降下を防止します。
- ブザーとランプによる過負荷警報装置
角度センサーとマイコンにより、吊り荷重状態を監視。過負荷のときにはブザーとランプ点灯でお知らせします。
- 外部表示灯
クレーン作業時に過負荷警報装置と連動して点灯。
- 多機能デジタルディスプレイ(荷重計) 装備。
- ワイヤーロープ外れ止め金具付きフック採用。
- フック格納ピン装備。



■作業範囲図

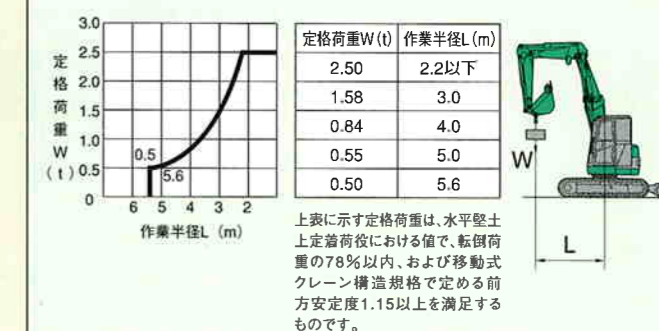


■要目

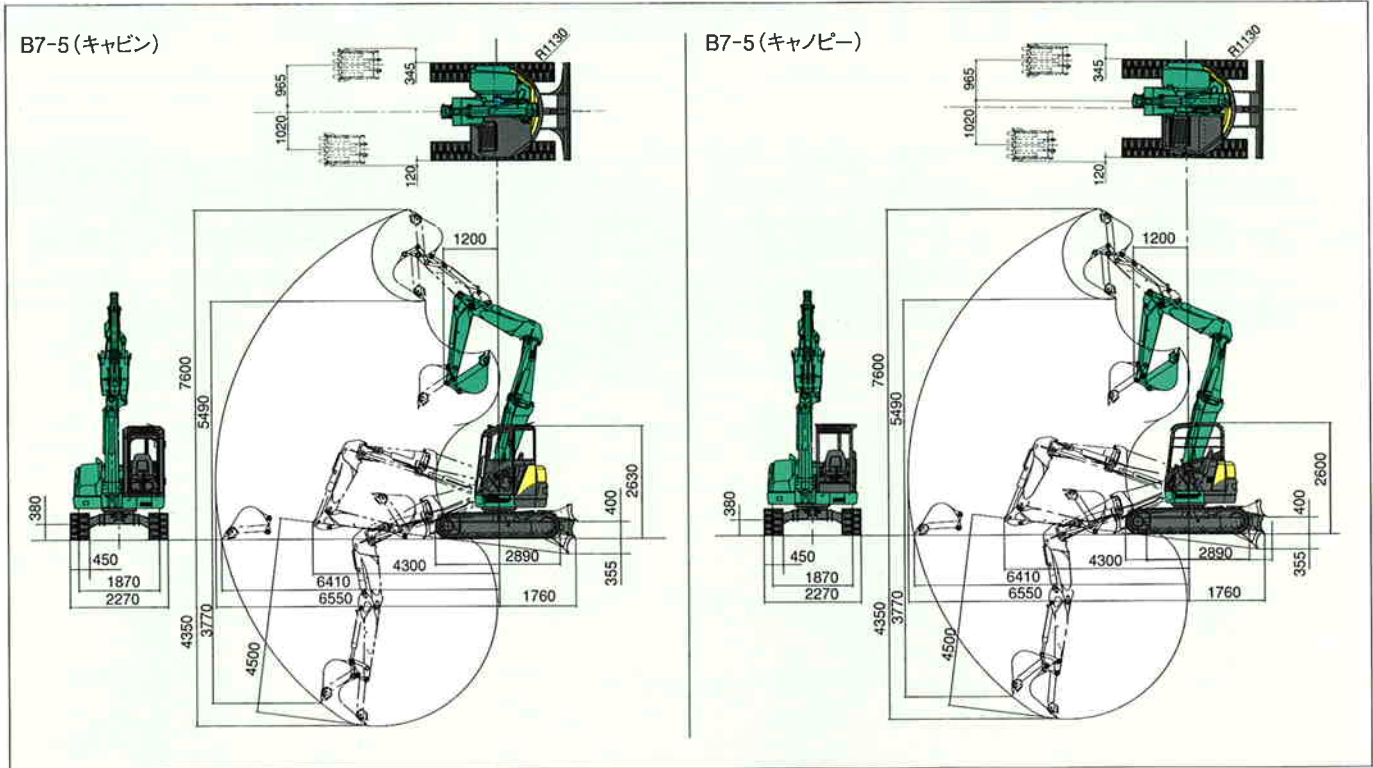
項目	形式仕様	B7Σ・H&クレーン			
		鉄クローラ		ゴムクローラ	
		キャノピ	キャビン	キャノピ	キャビン
●重量 (JIS表示)					
機械質量 (kg)		7700	7800	7650	7750
●エンジン					
形式 / 名称	—	立形水冷4気筒ディーゼル/4TNE98-EB			
出力 / 回転速度	kW/min (PS/rpm)	41.2/1900 (56/1900)			
●作業範囲および性能					
バケット容量、標準	m ³	0.28 (旧JIS表示0.25)			
接地圧 (標準シュー)	kPa (kg/cm ²)	33.3 (0.34)	34.3 (0.35)	32.3 (0.33)	33.3 (0.34)
走行速度、高/低	km/h	4.5/2.5		4.7/2.7	
吊り上げ荷重	ton	2.5			
最小作業半径	m	1.10			
最大作業半径	m	5.62			
フック最大地上揚程	m	3.05			

■定格荷重表

(標準アーム、0.28m³バケット付)



■外形寸法図(単位:mm)



■要目()内数値は鉄クローラ

商品名称	B7Σ	
型式	B7-5-CR	B7-5-PR
●質量		
機械質量	kg ● 7750	kg ● 7650
機体質量	kg ● 5380	kg ● 5280
●エンジン		
形式	● 立形水冷4気筒ディーゼル	
名称	● 4TNE98-EB	
出力/回転数	● kW/min ⁻¹ (PS/rpm) ● 41.2/1900 (56/1900)	
●バケット		
新JIS表示容量(標準)	● m ³ ● 0.28	
標準バケット幅	● mm ● 750	
●作業範囲		
最大掘削深さ	● mm ● 4350	
最大垂直掘削深さ	● mm ● 3770	
最大掘削高さ	● mm ● 7600	
最大ダンプ高さ	● mm ● 5490	
床面最大掘削半径	● mm ● 6410	
フロント最小回転半径	● mm ● 1200	
ブームオフセット幅	● mm ● 左1020/右965	

商品名称	B7Σ	
型式	B7-5-CR	B7-5-PR
●性能		
最大掘削力	● kN(kg) ● 54.8(5590)	
走行速度	● km/h ● 4.7/2.7(4.5/2.5)	
旋回速度	● min ⁻¹ (rpm) ● 10(10)	
接地圧(標準シュー)	● kPa(kg/cm ²) ● 33.3(0.34) ● 32.3(0.33) [34.3(0.35)] [33.3(0.34)]	
●油圧装置		
油圧ポンプ流量	● ℓ/min ● 70.3×2・57.4×1・12.4×1	
セット圧力(メインリリーフ)	● MPa(kg/cm ²) ● 24.5×2・20.6(250×2・210)	
●足まわり		
シュー形式	● ゴムクローラ(鉄クローラ)	
シュー幅(標準)	● mm ● 450	
最低地上高	● mm ● 380	
●ブレード		
幅 × 高さ	● mm ● 2260×345 (バットクローラ仕様は2320×345)	
揚程	● mm ● 400×355	
●燃料タンク		
容量	● ℓ ● 100	
●輸送寸法		
全長 × 全幅 × 全高	● mm ● 5780×2270×2630 ● 5780×2270×2600	

(バットクローラ仕様の全幅は2320mm)

- 単位は国際単位系によるSI単位表示。()内は従来の単位表示を併記したものです。●B7Σは、販売用の呼称であり、商品型名はB7-5です。
- 仕様は改良などにより、予告なく変更することがあります。●商品の色は印刷の関係上、実物と異なる場合があります。

●商品についてのご意見、ご質問は下記へ



⚠安全に関するご注意

- ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 故障、事故を未然に防止するため、定期点検は必ずおこなってください。

ヤマハ株式会社

●建機事業部 福岡県筑後市大字龍野1717-1(〒833-0055) TEL(0942)53-6121 FAX(0942)53-6855

ヤマハ販売会社

- 北海道ヤマハ株式会社 札幌市厚別区厚別東4条4丁目B-1(〒004-0004) TEL(011)898-8001 FAX(011)898-8088
- 東北ヤマハ株式会社 宮城県仙台市宮城野区福田町南1-1-10(〒983-0025) TEL(022)259-7201 FAX(022)259-7205
- ヤマハ東日本株式会社 東京都豊島区南池袋1-11-22(〒171-0022) TEL(03)5956-3681 FAX(03)5956-3682
- ヤマハ西日本株式会社 大阪府東大阪市高井田本通1-7-30(〒577-0066) TEL(06)6783-1121 FAX(06)6783-7975
- 中部支店 愛知県海部郡蟹江町大字蟹江新町久加555(〒497-0035) TEL(05679)5-5355 FAX(05679)5-5099
- ヤマハ中四国株式会社 広島県広島市佐伯区鷹の森3丁目1-31(〒731-5145) TEL(082)923-4114 FAX(082)923-0668
- 高松支店 香川県教員会館分寺町新居508-2(〒769-0101) TEL(087)874-9112 FAX(087)874-9120
- ヤマハ九州株式会社 福岡県福岡市博多区西月隈1丁目5番8号(〒816-0057) TEL(092)441-0928 FAX(092)451-1939
- ヤマハ沖縄株式会社 宜野湾市大山7丁目7-11-12(〒901-2223) TEL(098)898-3111 FAX(098)898-8082

2002年8月作成©00006011490 9908ℕ